レッスン：SPA/NO.31

テーマ：エレメント

SPA/NO.31/KE7/F/

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。

私たちは常に絶対である主、主の聖性によって包まれています。

前回のレッスンでは四つのエレメント、およびエーテル・バイタリティーを構成する他の三つのエレメントの重要性について述べました。重要と言うとき、何に対して重要なのでしょうか？現在のパーソナリティーが実存の諸世界で経験する上で、それらはとても重要なものです。しかしまた、この世界にいる間に現在のパーソナリティーがそれらのエレメントについてワークをして、それらのエレメントをマスターすることもまた非常に重要なことです。また、様々なアークエンジェルのオーダーがスーパーサブスタンス、サブスタンス、超物質、物質という異なったマインドのバイブレーションを使用してこの諸宇宙を築いていると述べました。

様々なエレメントは物質、超物質、サブスタンスなどいろいろなマインドのバイブレーションです。スーパーサブスタンスについてはどうでしょうか？それも同じです。なぜならエーテル・バイタリティーがスーパーサブスタンスをも活性化するからです。エーテル・バイタリティーは生の海であり、創造界の七つのヘブンのなかで全てを活性化する、と話しました。

それぞれのエレメントにはそれを司っているアークエンジェルのオーダーがある、と述べました。火のエレメントに対してはミカエル、水のエレメントに対してはガブリエル、空気あるいはエーテルのエレメントに対してはラファエル、地・土のエレメントに対してはいわゆるサミュエルですが、サミュエルは実際にはルシファーのエレメンタルです。ルシファーは原因結果の法則を司るアークエンジェルのオーダーです。そしてこの原因結果の法則もまた無知における人間の結果です。もし人間が限界のある現れに入ることがなかったなら、原因結果の法則はまったく存在しなかったでしょう。そしてその理由は、前に述べたように、無知のなかにおいて人間は二元性と二つの対極の結果として、調和をバランスに変えるからです。

過去に私たちは二元性の重要性について述べました。そして二元性は人間が自分が存在することを認識するために、想念・思考を現わすために、瞑想を現わすために、思考・行動の仕方を現わすための助けになるものです。人間はどのようにして自分が存在することを認識するのでしょうか？同時に問いであり答えであることによって、そして意味を創造するための観察・比較を通じてです。もし二元性がなかったなら、言い換えれば二元性が現れなかったなら、人間は自分が存在することを認識することができません。もし二元性の現れが停止するなら人間という現象は植物となります。

さて、それらのエレメンタル、ルシファーの創造であるサミュエルに戻りましょう。それらのエレメンタルは永遠的なものでしょうか？答えはノーです。前に述べたように、それらのエレメンタルは肉体がある間だけ存在します。なぜなら、私の肉体は実際サミュエルの支配下にあるからです。

それでは肉体を築き、維持するために肉体のなかで働いている他のアークエンジェルのオーダーはどうでしょうか？彼らの仕事は肉体を築き、維持するだけですが、それはサミュエルが司っています。そしてこの肉体は現れとしての現在のパーソナリティーとは何の関係もありません。肉体は物質界にいる間に使用するべく現在のパーソナリティーに提供されたものです。それは乗り物のようなものであり、身にまとうために与えられた着物のようなものであり、それ以上のものではありません。このことを認識する必要があります。そしてパーソナリティーが死という現象に伴って肉体を去るとき、肉体は再び地に戻ります。

Page2

他のエレメントについてはどうでしょうか？肉体のなかの他のエレメントは肉体には属していません。水のエレメント、火のエレメントは肉体のものではなく、エーテル・バイタリティーあるいはエーテルについても同じです。それらは肉体を活性化し、現在のパーソナリティーの真の体とつなげるために肉体のなかにあるのです。現在のパーソナリティーの真の体は二つあり、サイキカル体とノエティカル体です。そしてそれら二つの体を肉体とつなぐもの、それは物質として存在する不定形の体です。それは肉体の永遠のアトムであり、そして勿論他の諸体もあります。サイコノエティカル体というとき、実際それらは不定形の諸体、不定形の永遠のアトムです。

現在のパーソナリティーとして私たちはこれらの不定形の諸体についてワークをする必要があり、そのワークをするには四つのエレメントおよび同時に他の三つのエレメント（あるいはもう一つと言った方が良いかもしれません。なぜなら他の三つが一つ、すなわちエーテル・バイタリティーを構成しているので）のワークをする必要があります。

さて過去に述べたように、思考・行動の仕方の結果として、現在のパーソナリティーは時間・空間の意味のなかで無数のエレメンタル、欲望的想念のエレメンタルを現わしています。なぜそうなのかについても前に説明しました。なぜなら現在のパーソナリティーの三つの体全てがハートのセンターに根付いているからです。初めはそれらは不定形の形をしています。つまり初めは球体であり、徐々に少しずつ時間を経るに連れて（時間を経るにつれて、という意味はそのパーソナリティーが経験を重ね、学びを重ねるにつれて）、それらの諸体は少しずつ拡大し、最終的には肉体と同じサイズになります。しかし、そうなるのは数多くの転生を重ね、創造界の様々なエレメントをマスターし、エーテルの様々な特質をマスターした時のことです。

さて、欲望的想念のエレメンタルは人間によって創造されます。なぜそれらは創造されるのでしょうか？なぜなら、それらが存在するようになるからです…物質ではなくて、スーパーサブスタンス、サブスタンス、超物質を使って創られます。そうです、時にはそれらのエレメンタルの存在はエーテルのバイブレーションのなかでそれ自身を低めます。勿論それは一般的な普通の人間の場合です。しかし、それらのエレメンタルは何を現わすのでしょうか？それら創造されたエレメンタルは何を現わすのでしょうか？それらは、あるいはそれらが現わすものは全ては、それらを創造したパーソナリティーの思考・行動の仕方と類似しています。

しかし既に学んだように、思考・行動の仕方としての現れは生の特質です…たとえ創造ではなくて生の現象としてではあっても。ですから、人間は無知のなかにあっても、現在のパーソナリティーとしてですら創造し、同時に他の生を生み出すのでしょうか？ちがいます、他の生ではなくて自分自身の何かを生み出すのです。

ですから私たちがエレメンタルについて話している時、実際それは創造であり、同時にそれは生まれてくる何かなのです。創造物として、それは何かが表現されるための手段に過ぎません。常に現れは誕生であり、それが生じるためには私たちはまず最初に生それ自体の諸世界、ワイデスト・オブ・ヘブンズ(Widest of Heavens)から始める必要があります。というのも、この質、絶対存在の法則を通じて全ては現われるからです。

ワイデスト・オブ・ヘブンズ(Widest of Heavens)は創造の偉大な母であり、その質を通じて絶対存在の他の全ての特質が生まれ、この質は主な特質の一つであり、絶対存在の本質のなかにあり、以前説明したように、たとえ母親が子供を産む場合でも、たとえ生の現象としてでも実際に生を生むのは彼女（＊創造の偉大な母であるワイデスト・オブ・ヘブンズ）なのです。しかし、肉体としての体は聖霊的現れ、別のアークエンジェルのオーダーによって創られたものです。

ですから創造と誕生があります。同じ事は生の諸世界においても同じ事が起きます。過去に述べたように、様々な生の王国があります…植物界、動物界のように…それらはアークエンジェルが創造したものであり、実際にはアークエンジェルが他を創りますが、そこに現れるものは彼らの意識の部分です。

Page3

動物を通じて現れる意識のレベルはアークエンジェルのレベルではないことを私たちは知っています。その理由は、それら全ての生の王国は人間、人間のイデアを助けるためにあるからです。その意識は限界のなかにあり、動物は本能を現わします。彼らの意識は本能的ですが、同時にそれは生としての一つのモナドの現れではありません。それらは生の息吹の結果です。生の息吹は個別のモナドではなく、それは創造者の意識とつながっており、彼らの創造者が現れる意識のレベルをプログラムすることができ、そのセルフ・エピグノシスをプログラムし、その特定の現れによって表現される仕事をプログラムすることができます。

アークエンジェルはいわゆるエンジェルを創造し、現わします。エンジェルは永遠的な創造物、永遠的現れです。その意識とは何でしょうか？その意識は完全にアークエンジェルと同じです。それはまるでアークエンジェルがその多様性（多くの同一物）を現わしているかのようです。しかし、違う点としては、セルフ・エピグノシスは異なります。なぜなら、それは創造界のなかでただ一つの仕事だけを行うようにアークエンジェルによってプログラムされているからです。しかし勿論、アークエンジェルもまたプログラムされたセルフ・エピグノシスであり、それは絶対存在から提供されます。

ですから、人間とアークエンジェルは両方とも何かを創造し、生み出します…生の息吹としての自分自身の同一体、アークエンジェルの意識あるいは人間のセルフ・エピグノシスの意識を完全に現わす同一体を創造します。これら全てについては過去にお話ししました。

多様性（複数性）は生の特質の一つです。人が、現れのもう一つの手段としてサイコノエティカル体を使用できるレベルに到達し、それを肉体から分離させることができるようになると、その時パーソナリティーは多様性という能力を完全に現わすことができ、限られた現れではなく自分自身の完全な現れを創造し、生み出すことが可能となります。その人の意識全体がその（＊創造された）同一体へと移送されます。その時には二つ、あるいは三つ、あるいは百、何千という同一体のなかにその人の意識全体が存在します。それが起きるためには勿論、そこには理由が必要です…他の理由や好奇心ではなく、同胞の人間を助けるという理由が必要です。

ですから意識は沢山の同一体のなかでそれ自身を表現することができます。自分自身の同一体を創造した誰かをあなたが見るとき、あなたはこれはオリジナルだと言うことはできません。なぜなら両方ともがオリジナルだからです。両方とも自動的に肉体とつながっています。一つだけではなく両方がです；もしそれらが三つであれば三つ全部、10なら10全部が。あなた方のなかには、どの同一体がシルバーコードで肉体とつながっているか見てみよう、と言う人がいるかもしれません。しかし、全ての体、全ての同一体は肉体とつながっており、例えば一つの同一体がやるべき仕事を成し終えると、それは他の同一体のなかに自動的に入ります。創造界のなかでそれぞれの同一体がやるべき特定の仕事を行う、ということです。

ですから、現在のパーソナリティーには創造物としての三つの体があり、それらの体は聖霊的現れ（それぞれ異なったアークエンジェルのオーダーによって）によって築かれています。また（＊創造界には）生の誕生があります。生の息吹の誕生です…それが動物界の形あるいは植物界の形をとっていようとも。実際、それらの動植物界は制限ある意識の現れを伴う生の息吹の誕生の結果です。

さて、無知の状態にある間、四面ピラミッドの下の部屋にいる人間がいます。“下”と言うとき、それは地のなかに、土のなかにいるという意味です。限界ある現れ、五感を使って現わしている人間がいます。言い換えれば、下向きの五芒星があり、人間は人間が創造した様々な低次のバイブレーションのエレメンタルに囲まれています。それは人間の無知の結果です。そして真理の探究者は様々なエレメント、およびエーテルの様々な特質をマスターする必要があります。

勿論、それらを完全にマスターすることは四面ピラミッドの下方の部屋では生じません。そこで行われるワークは現在のパーソナリティーが地のなかの部屋からピラミッドまでの距離を、いかなる恐れもなくそれらのエレメンタルと直面しながら旅する能力を与えます。そして四面ピラミッドのなかに入り、地表に立って、もはや土にフォーカスすることのないセルフを表現し始めます。その時にはセルフはヘブンにフォーカスし、いわゆるヤコブの梯子の様々なステップを昇ることにフォーカスするようになります。それは現在のパーソナリティーが様々なアークエンジェルのオーダーに同調し、同時に現在のパーソナリティーはエゴの様々な側面を殺し始めることです。

Page4

これらすべてのワークは四面ピラミッドのなかで行われます。現在のパーソナリティーが地のなかで無知によって創造された様々なエレメンタル（感情・気持ちによって創造されたもの、非常に低次のバイブレーションの感情、気持ちによって創造されたもの。そして思考の仕方の非常に低次のバイブレーションによる創造）に取り囲まれている時のことではありません。それら低次のエレメンタルは悪魔、獣と見なされています。

不幸にも人間が地にフォーカスする結果として、それらのエレメンタルは生かされたままになっています。それらのエレメンタルのエネルギーを失わせるためには、人間は地にフォーカスするのを止める必要があり、それが唯一の方法です。

ですから人間は無知のなかにいて、以前のレッスンで述べたように、私たちは様々なエレメントのワークをスタートします。水のエレメントにワークするエクササイズを提供しましたが、勿論同時にそうと知らずに他のエレメントについてもワークをしています。

なぜ水のエレメントからスタートするのでしょうか？水のエレメントは現在のパーソナリティーをサイコノエティカル界と結びつけるエレメントだからです。水のエレメントはサイキカル体の主要なエレメントです。水というとき、この世界で私たちが目にする水を必ずしも意味しません。助けになるのは水の輝き、光です。

快適で静かな眠りのためには、実際私たちはこの水のエレメントの輝きを通過する必要があります。いいですか、静寂のなかで私たちはこの海の水をかき回して、寝ている間にとても不快な状況に入ることがあります。もし休息が欲しければ、それらの水を静める必要があります…特に私たちのなかにある水のエレメンタルを。

ですから、私たちは引き続きこのエクササイズを提供します。非常に大事なエクササイズだからです。私たちの健康のためにワークをしますが、それは現在のパーソナリティーの三つの体のみならず、肉体（それは実際には私たちの体ではありませんが）の健康のためにも。私たちは眠っているステートにおいて、聖霊の監督下において完全にこの身体を去ることを学ぶ必要があります。そして聖霊は肉体にとって必要なあらゆる修復を行ってくれます。そのために睡眠は必要なのです…肉体がそのなかにある様々なアークエンジェルのオーダーによって修復されるために。それ以外に睡眠の理由はありません。

サイコノエティカル体は睡眠を必要とせず、意識がその現れをスイッチオフする必要はありません。眠っている間に意識は完全にサイコノエティカル体へと移動し、サイコノエティカル体は肉体から切り離されます。切り離されると言うとき、完全にという意味ではなく少し外に移動し、肉体と完全には合致していない状態を意味します。これは意識が他の二つの体に移送される唯一の方法です。

しかし、いずれにしてもたくさんのワークがあり、それは口で言うようには簡単ではありません。この世界においても水のエレメントは非常に重要です。なぜなら、物質界でああらゆるものが存在するためにはより高いバイブレーションとつながっている必要があり、水のエレメントを通じて高いバイブレーションとつながるからです。

エクササイズ　SPA 31/NO.1

静かに座り、心を騒がせているものを解き放ちます…真っ白な自分を視覚化し、自分の境界を感じます…同時に純白な五芒星のなかで守られている自分自身を見ます…あなたは真っ白な五芒星によって守られています…いまあなたは広々としたところに立っています…とても気持ちよく晴れ渡っている日です…とても美しい草原に立っています…周囲の景色はとてもきれいです…見えるものは全てグリーンです…周囲はとても美しく、あなたはとても気持ちよく感じています…晴れているのに暑くはなく、清々しい気分です…あたかもこの清々しさを生み出す霧に包まれているかのようです…空のどこにも雲はないにもかかわらず、この霧があなたに触れているように感じます…空は晴れて雲一つないのですが、この清々しい霧があなたを包んでいるように感じています…身体全体がそれを感じます…火と水の二つのエレメントの組み合わせを感じます、なぜなら太陽の光がさんさんと降り注いでいるからです…よく見てみれば、このコンビネーションが創造界全体を築き、維持していることがわかります…さて、前方を見てみると少し離れたところに美しい湖があるのが見えます…その湖の水はきれいに澄んでいます…全く透明です…とても静かで、まるで鏡のようです…しかし実際には鏡ではなく、この水のエレメントを通じて水の中、湖の底まできれいに見えます…あなたはこの湖の水の静けさについて見てみたいと感じます、そこに何が起きているのか見てみたいと思い、その湖に向かって歩きます…歩いているとき、草が足に触れる気持ち良さを感じます、ホワイト・グリーンの草です…ホワイト、そうです、なぜなら一歩一歩進むごとに新鮮さ、白の輝きのようなものを感じるからです…この新鮮な触感を感じます…今あなたは湖のすぐそばに来ました…湖のすぐ前に立っています…湖の深い静寂が感じられます…湖に入りたいと思います…それによって、その静寂があなた自身に影響を与えるからです…少しずつ、徐々に水のなかに入ります、今、足首まで入りました…少しずつ前に進み、今太陽神経叢の高さまで水が来ています…今あなたはその高さまで水に包まれています…とても静かに感じ、良い気分です、もっと先に行きたいと思います…今、その静かな水が胸まで来ています…肩まできました…それらの水の静けさがあなた自身の水のエレメントを静めてくれることを、同じような静寂を示してくれることを、願います…もしこのエレメントのなかに完全に入ると、恐れがあるでしょうか？…答えはノーです、あなたは完全に水のなかに入ることができ、一切恐れを感じません、今あなたは完全に水のエレメントのなかにいます…あなたはその静寂、静けさに完全に包まれています…非常に静かです…その静寂があなたのなかの水のエレメントを静めてくれるように願います…現在のパーソナリティー全体の健康を願います…私は主、主の絶対性、主の聖性に包まれています。終わります。

質問

質問：魂はいつ体に入るのでしょうか？

Ｋ：魂と言うとき、魂は決して完全には身体に入りません。魂、魂の大部分は存在の諸世界に留まります。実存の諸世界に入るのはその魂の微細なスパークのみです。いずれにしても、全てのパーソナリティーに宿り、転生するそのスパークを私たちは永遠のアトムと呼んでいますが、それは肉体がこの世界に現れた時、息を始めた時から肉体のなかに完全に入ります。永遠のアトムが実際に肉体とつながるのはその時です。しかし、永遠のアトムが完全に肉体とつながるのはそのパーソナリティーが７歳に達してからです。それ故に、幼い子供達はたくさんのファンタジーを表現するのです。彼らは夢の世界に住んでいますが、それはそのためです。なぜなら子供たちの意識は肉体よりもサイコノエティカル体の方により多く根付いているからです。

質問：動物が人間の身体に転生することがありますか？

Ｋ：ありません。動物界および植物界はアークエンジェルの創造物であり、現れです。創造物と言うとき、それは体であり、四つのエレメントの使用を通じて創造されたものであり、言い換えればマインドのいろいろなバイブレーションによって創造されたものです。しかし、現れとして彼らは生の息吹を現わしており、それはその現れにとって実際に誕生ということです。しかし、体は創造物であり、かれらは物質のなかにいる間のみ存在します。その後、意識としての本能は彼らを創造し、現わしたエンジェルあるいはアークエンジェルへと戻ります。

そのような生の王国、生の現象の王国が実存の他の諸世界にもあるのだろうか、とあなた方は尋ねるかもしれませんが、答えはイエスです。しかし、この世界と同じではありません。それは永遠である人間のごとくではありません。人間は永遠であり、人間は生それ自体であり、人間は創造物ではありません。人間がいわゆる超意識的意識のセルフ・エピグノシスを表現する能力に到達すると、その人が好む他のフォームを何であれ創造することができるようになり、その中に生の息吹を吹き込んで与えることができます。それは物質のバイブレーションのなかで実際に存在するようにさえなります。それは人間が同時にアークエンジェルでもあるからです。人間にはアークエンジェルのようなセルフ・エピグノシスの制限というものがありません。人間はあらゆるアークエンジェルのオーダーが行う仕事を行うことができるのです。しかしそれぞれのアークエンジェルのオーダーは、創造界のなかで行うべき特定の仕事のためにプログラムされたセルフ・エピグノシスしか現わしません；ミカエルにはこの仕事、ラファエルにはこの仕事、ガブリエルにはこの仕事、等というように。しかし人間は全てを行うことができます…なぜなら、人間のセルフ・エピグノシスはそのように制限されてプログラムされていないからです。

Page6

しかし、人間が実存の諸世界に入ると、制限された現れのなかにのみ入る能力が意識に対して与えられます。現れとしての制限です。なぜなら実際、意識は質という面では決して制限、限界のなかには入らないからです。しかし、現れとしては、現在のパーソナリティーのなかに転生する微細な部分は限界のなかに入ります。

こう述べたからといって、生の現象としての他のいかなる現れをも傷つけることが許されている、という意味ではありません。私たちは何であれ生が創造し、現わすものを尊重すべきです。人間の行動に応じてある人々は生の他の形態（＊人間以外の）に入る、と信じる人々がいる理由は、そのような人々はヤコブの梯子の様々なステップを昇り始める能力まで到達していないからです。彼らは様々なアークエンジェルのオーダーに同調しています、言い換えれば彼らはアークエンジェルのヒポスタシス（＊状態）の様々なレベルを現わし始めるのです。

勿論、前に述べたように人間は同時にアークエンジェルです。それゆえに、様々な本、様々な哲学のなかで、私たちは様々な意識レベルを通じて進歩成長した結果である、と書かれているのです。しかし、そうではありません。人間は生であり、実際人間は生を現わす手段として創られています。創られると言うとき、生としてではなく、決して誕生としてではありません。それは創造として創造界全体と同一である、という意味です。

質問：私たちが創造する同一体は単に一つの体を有するのですか、それとも三つの体を有するのでしょうか？

Ｋ：私たちが創造する同一体は三つの体を有します。私たちは何かを創造するために思考を現わす必要があり、思考のスパークは生の海から来ます。同一体はスーパーサブスタンス、サブスタンス、超物質から築かれ、エーテル、エーテル界のバイブレーションとなります。それは物質とスーパーサブスタンスのサイキカルバイブレーションの間です。

EREVNA SPA 31/KE7/